平成25年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年８月８日

上場会社名　　丸全昭和運輸株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　9068　　ＵＲＬ　http://www.maruzenshowa.co.jp/
代表者　　（役職名）取締役社長　　（氏名）浅井　俊之
問合せ先責任者　（役職名）取締役経理部長　　（氏名）石川　健一　　ＴＥＬ　045-671-5879

四半期報告書提出予定日　平成24年８月13日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第１四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第１四半期	22,030	0.7	1,222	1.8	1,361	3.3	893	17.0
24年３月期第１四半期	21,869	3.5	1,201	37.2	1,318	32.0	763	48.7

（注）包括利益　25年３月期第１四半期　360百万円（△45.1%）　24年３月期第１四半期　656百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第１四半期	9.98	－
24年３月期第１四半期	8.42	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年３月期第１四半期	93,415	55,565	59.4	619.68
24年３月期	94,165	55,569	58.9	619.83

（参考）自己資本　25年３月期第１四半期　55,474百万円　24年３月期　55,488百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	5.00	－	4.00	9.00
25年３月期	－				
25年３月期（予想）		4.00	－	4.00	8.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無
平成24年３月期第２四半期末の１株当たり配当金５円00銭には、創立80周年記念配当１円00銭が含まれております。

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	45,500	4.4	2,300	4.9	2,450	3.7	1,500	8.9	16.76
通期	92,000	5.6	4,600	9.2	4,900	4.6	3,000	13.0	33.51

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期１Ｑ	98,221,706株	24年３月期	98,221,706株
②　期末自己株式数	25年３月期１Ｑ	8,700,446株	24年３月期	8,700,004株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期１Ｑ	89,521,188株	24年３月期１Ｑ	90,609,334株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などにより緩やかに回復しつつあるものの、長引く欧州債務危機、円高・株安の長期化、電力供給の制約などの懸念材料も多く、依然として不透明な状況が続きました。

当第１四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は22,030百万円（前年同期比0.7％増）、営業利益は1,222百万円（前年同期比1.8％増）、経常利益は1,361百万円（前年同期比3.3％増）、そして四半期純利益は893百万円（前年同期比17.0％増）となりました。

セグメント別の状況につきましては、次のとおりであります。

＜物流事業＞

貨物自動車運送事業においては、関東地区で食品関連の一部業務移管や樹脂関連・化学原料関連の取扱減少、また前期震災需要の日用品の取扱減少なども見られましたが、建設機械の製品・部品の輸出取扱増加に伴う輸送量の増加が大きくありました。中部地区では、介護用品・化学原料・住宅関連用品・油脂などの取扱の増加があり、全体としては増収となりました。港湾運送事業においては、関東地区でステンレス屑などの輸入取扱減少や半導体装置、農業機械等の輸出取扱減少もありましたが、建設機械の製品・部品の輸出取扱増加や青果物の取扱増加、海外工場移設案件の受注が増加しました。関西地区では、塗料や断熱材の輸入取扱の減少がありましたが、全体としては増収となりました。

倉庫業においては、関東地区で前期の震災関連スポット貨物の取扱が減少しましたが、建設機械用部品の取扱量増加や研磨剤・樹脂関連の増加、輸入大豆や危険物品の取扱が増加し全体としては増収となりました。

鉄道利用運送業においては、前期にありました震災需要が減少し減収となりました。

その結果、物流事業の売上高は前年同期比2.2％増収の17,538百万円、営業利益は前年同期比9.3％増益の819百万円となりました。

＜構内作業及び機械荷役事業＞

構内作業においては、関東地区で建設機械の組立や防錆作業による取扱量の増加があり、関西地区では作業形態の変更に伴う日用雑貨の取扱増加があり増収となりました。機械荷役事業では、作業案件が減少し減収となりました。

その結果、構内作業及び機械荷役事業の売上高は前年同期比1.8％増収の3,681百万円、営業利益は前年同期比6.4％増益の242百万円となりました。

＜その他事業＞

工事収入においては、一部海外への工場移設案件もありましたが、そのほかの大型移設案件の終了に伴い大幅な減少があり減収となりました。また、地代収入においても、得意先の撤退等により減収となりました。

その結果、その他事業の売上高は前年同期比25.9％減収の810百万円、営業利益は前年同期比28.2％減益の160百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第１四半期の総資産は、93,415百万円と前期末に比べ749百万円減少しました。

このうち、流動資産は32,494百万円となり、前期末に比べ811百万円減少しました。主な要因は有価証券が1,499百万円減少し、その他に含まれる信託受益権が502百万円増加したことによります。また固定資産は60,921百万円となり、前期末に比べ62百万円増加しました。その主な要因は、建設仮勘定が801百万円増加し、投資有価証券が784百万円減少したことによるものです。なお、投資有価証券の減少は、上場株式の時価下落によるものです。

流動負債は29,255百万円となり、前期末に比べ4,775百万円増加しました。主な要因は短期借入金に含まれる一年以内返済予定の長期借入金が4,965百万円増加したことによるものです。また固定負債は8,595百万円となり前期末に比べ5,520百万円減少しました。主な要因は長期借入金が5,178百万円減少したことによるものです。

当第１四半期の純資産は、55,565百万円と前期末と比べ4百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金が528百万円増加し、その他有価証券評価差額金566百万円減少したことによるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

物流業界におきましては国際貨物の輸送量は欧州や新興国の経済が減速傾向を強めていることから大きな増加は期待できず、また国内貨物の輸送量は生産の回復や前年度の減少の反動などを受け、ようやく増加の兆しが見えてきましたが、トラックの燃料価格は高止まりの状況にあり、引き続き厳しい環境が続くものと思われます。

このようななかで、当社グループは平成２２年度を初年度とする３か年にわたる第四次中期経営計画の最終年度を迎え、重点施策である１．売上の拡大　２．物流品質の維持・向上　３．企業基盤の強化　に全力で取り組み、収益目標の達成に努めてまいります。

平成25年３月期の第２四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、現時点では平成24年５月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第１四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,069	6,900
受取手形及び営業未収金	18,479	18,488
有価証券	5,399	3,899
貯蔵品	116	110
前払費用	466	806
繰延税金資産	605	601
その他	1,190	1,694
貸倒引当金	△19	△6
流動資産合計	33,306	32,494
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,708	20,465
機械及び装置（純額）	1,545	1,594
車両（純額）	510	603
工具、器具及び備品（純額）	53	51
リース資産（純額）	540	565
土地	18,359	18,359
建設仮勘定	208	1,010
有形固定資産合計	41,924	42,650
無形固定資産		
のれん	0	0
その他	757	691
無形固定資産合計	757	692
投資その他の資産		
投資有価証券	12,467	11,682
長期貸付金	230	272
繰延税金資産	15	41
その他	5,490	5,617
貸倒引当金	△27	△37
投資その他の資産合計	18,175	17,577
固定資産合計	60,858	60,921
資産合計	94,165	93,415

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	9,061	8,627
短期借入金	9,788	14,753
1年内償還予定の社債	29	29
未払金	469	653
未払法人税等	1,136	521
未払消費税等	330	262
未払費用	1,656	3,036
賞与引当金	1,212	589
役員賞与引当金	1	0
災害損失引当金	17	17
その他	775	762
流動負債合計	24,479	29,255
固定負債		
社債	144	144
長期借入金	10,574	5,396
繰延税金負債	1,470	1,226
退職給付引当金	518	369
役員退職慰労引当金	10	3
資産除去債務	586	590
その他	810	864
固定負債合計	14,115	8,595
負債合計	38,595	37,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,117	9,117
資本剰余金	7,848	7,848
利益剰余金	39,792	40,320
自己株式	△2,465	△2,465
株主資本合計	54,292	54,820
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,525	959
為替換算調整勘定	△328	△304
その他の包括利益累計額合計	1,196	654
少数株主持分	81	90
純資産合計	55,569	55,565
負債純資産合計	94,165	93,415

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
営業収益	21,869	22,030
営業原価	19,759	19,887
営業総利益	2,110	2,143
販売費及び一般管理費	908	920
営業利益	1,201	1,222
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	131	123
持分法による投資利益	53	58
その他	23	33
営業外収益合計	209	217
営業外費用		
支払利息	66	63
その他	26	15
営業外費用合計	92	78
経常利益	1,318	1,361
特別利益		
固定資産売却益	6	37
特別利益合計	6	37
特別損失		
固定資産除売却損	21	5
特別損失合計	21	5
税金等調整前四半期純利益	1,303	1,393
法人税、住民税及び事業税	466	464
法人税等調整額	59	26
法人税等合計	525	490
少数株主損益調整前四半期純利益	778	902
少数株主利益	14	9
四半期純利益	763	893

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	778	902
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△126	△559
為替換算調整勘定	8	23
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△7
その他の包括利益合計	△121	△542
四半期包括利益	656	360
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	641	350
少数株主に係る四半期包括利益	15	9

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
【セグメント情報】
Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年６月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	物流事業	構内作業及び機械荷役事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,159	3,616	20,776	1,093	21,869	－	21,869
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	112	112	△112	－
計	17,159	3,616	20,776	1,205	21,982	△112	21,869
セグメント利益	749	228	977	223	1,201	－	1,201

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設業、警備業、産業廃棄物処理業、不動産業、保険代理業、自動車整備業等のサービスを実施しております。
２．調整額△112百万円は、セグメント間取引消去額であります。
３．セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	物流事業	構内作業及び機械荷役事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,538	3,681	21,219	810	22,030	－	22,030
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	108	108	△108	－
計	17,538	3,681	21,219	919	22,139	△108	22,030
セグメント利益	819	242	1,061	160	1,222	－	1,222

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設業、警備業、産業廃棄物処理業、不動産業、保険代理業、自動車整備業等のサービスを実施しております。
２．調整額△108百万円は、セグメント間取引消去額であります。
３．セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。